

春日井ロータリークラブ

2017～2018年度 WEEKLY REPORT



ロータリー:
変化をもたらす

クラブテーマ

～ロータリアンの第一歩は、まず例会に出席しよう
そして、会員同士をよく知り「アットホーム」なクラブにしよう～

会 長	: 近藤 太門	例 会 日	: 金曜日 12:30～13:30
副 会 長	: 加藤 久仁明	例 会 場	: ホテルプラザ勝川
副 会 長	: 野浪 正毅	事 務 局	: 春日井市鳥居松町 5-45
幹 事	: 加藤 宗生	T E L	: (0568) 81-8498
会報委員長	: 古屋 義夫	F A X	: (0568) 82-0265
		E- mail	: Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ふれあい緑道

本日のプログラム

2018年2月16日(金)2356回(2月第3例会)

- | | | |
|--------------|----------------|--------|
| | 司会 | 会場委員会 |
| ・点 鐘 | | 近藤 太門君 |
| ・ROTARY SONG | 「われら日本のロータリアン」 | |
| ・今月の歌 | 「冬景色」 | |
| ・ビジター紹介 | | 近藤 太門君 |
| ・委員会報告 | | |
| ・祝福 | | |
| ・春日井警察署員表彰 | | |
| ・卓話 春日井警察署長 | | 酒井 紀人様 |
| ・幹事報告 | | 加藤 宗生君 |
| ・点 鐘 | | 近藤 太門君 |

ました。今回は米山奨学生の易敏さんの大活躍があつて全てがスムーズに式典を済ます事が出来ました。私の立場としてはクラブ事業の報告だけとさせていただきます。向こうでのお話しは、同行した者が次の機会に報告させていただきます。

幹事報告 幹事 加藤 宗生君
2月16日(金) 祝福
卓話 春日井警察署長 酒井 紀人 様

今月の祝福

今月の歌

冬景色
さ霧消ゆる 湊江の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の 声はして
いまだ覚めず 岸の家

会員誕生

3日 小川 長君
9日 朽本 正樹君
17日 中川 健君
19日 新美 治男君
21日 和田 了司君
27日 野田 勇君
29日 宅間 秀順君

先週の記録

会長挨拶

近藤 太門君

台湾の東港ロータリークラブとの姉妹クラブの締結調印を行う為、加藤宗生幹事、岡本博貴国際委員長、米山奨学生の易敏さんと私の四人で台湾に行つて来ました。高雄の新幹線駅に出迎えてもらいましたが、その時、東港のメンバー7-8人の方が歓迎の横断幕を掲げての盛大なる出迎えには、流石にびっくりさせられました。夜には、締結調印の為の例会と併せての家族会が開催され賑やかな中にも、姉妹クラブ継続のための締結調印を無事に済ます事が出来ました。あちらのメンバーの健啖家ぶり、それに酒豪伝説は伝説ではありませんでした。全くの下戸の私には、驚きの事であり

結婚記念

2日 伊藤 一裕君
5日 大畑 一久君
11日 山田 治君
11日 下田 育雄君
16日 清水 勲君
20日 大原 泰昭君
22日 宅間 秀順君

夫人誕生日

4日 風岡 保広君・鈴子さん
13日 近藤 秀樹君・真理子さん
26日 朽本 正樹君・恵子さん

平和と紛争予防/紛争解決月間

例会予定	2月22日(木)	3月2日(金)	3月9日(金)	3月16日(金)
	職場例会(名古屋事務所) 2月23日(金)例会変更 勝川駅南側 11:00出発	第9回理事役員会 11:30~ 東港姉妹締結報告 第5回クラブ協議会	入会式 次期委員長挨拶	祝福 卓話 春日井市長 伊藤太様

ホームページ: <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail: ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

アテンダンス表彰

16ヶ年 近藤 太門君
7ヶ年 成瀬 浩康君
2ヶ年 下田 育雄君
〃 岡本 博貴君

◎例会変更のお知らせ

名古屋宮の杜 R C	2月15日(木)→2月24日(土) 西三河中分区 IMの為竜美丘会館
名古屋名東 R C	2月27日(火)→2月26日(月) 16:00~ 分区 IMの為ウェスティンナゴヤキャッスル
名古屋東 R C	2月26日(月) 16:00~ 東名古屋分区 IMの為ウェスティンナゴヤ
西尾 R C	2月27日(火)→2月24日(土) 14:00~ 分区 IMの為 グランドティアラ安城
名古屋城北 R C	2月27日(木) 夜間例会の為 東急REIホテル
名古屋守山 R C	2月28日(水)→2月26日(月) 14:00~ 東名古屋分区 IMの為ウェスティンナゴヤ
名古屋北 R C	3月2日(金)→2月26日(月) 16:00~ 東名古屋分区 IMの為ウェスティンナゴヤ

出席報告

委員長 梅村 守君

会員 52名	欠席 23名	出席率 55.7%
先々週の修正出席	欠席 5名	出席率 90.3%

ニコボックス報告

委員長 芝田 貴之君

○成田先生のお話を楽しみに 近藤 太門君
○米山奨学生易敏さんを推薦していただきました
成田徹男様をお迎えする喜びで 清水 勲君
○がんばれ日本!!! 大原 泰昭君
○無事に台湾から帰ってきました。岡本 博貴君
○商工会議所の50周年式典にて、アイデアコンテストに出した作文が表彰される事になりました。
下田 育雄君
○皇居東宮御所のバラの剪定に行きまして。陛下より労いのお言葉を賜りました。北 健司君
○奨学生のお世話ご苦労様です。松尾 隆徳君
○22日(水) 職場例会は名古屋刑務所です。よろしくお祈りします。和田 了司君
○成田先生をお迎えして。卓話を楽しみにしています 社本 太郎君 宅間 秀順君 古屋義夫君

○卓話へ

伊藤 一裕君 稲垣 勝彦君 梅村 守君
小川 長君 小野寺 誠君 風岡 保広君
加藤 茂君 加藤 宗生君 川瀬 治通君
近藤 秀樹君 野浪 正毅君 速水 敬志君
屋嘉比良夫君 山田 治君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話 名古屋市立大学 教授 成田徹男 様

1. 日本人名は姓が後?子どものころ、「フランキー塚」とか「ディックミネ」とか「スマイリー小原」とか、アメリカ的な芸名に大人がカッコよさを感じているのが普通のことだと思っていた。小学校6年生の時の(前の)「TOKYO」オリンピックでは、日本の正式の国名が「JAPAN」なのだと覚えたつもりでいた。中学校で英語を習い始めて、英語では「マイ ネーム イズ テツオ ナリタ」と、姓を後に言うものだと思っていた。しかし、しだいに何か変だな、と感じるようになっていた。その違和感について、はっきり自覚できてきたのは、それほど古いことではない。ひとつは、ある韓国の留学生在が英語で自己紹介しているときに姓を先にしていたことに気づいたことである。もうひとつは、天安門事件について英語のウィキペディア Wikipedia の記述を見ていたら、中国人名が、姓が先に書かれていることに気づいたことである。決定的だったのは、ある新聞に載っていたエッセイである。ある人がドイツの書店で安部公房の本がないか書店員に聞いたのだそうだ。「コーボー アベ」と言ったところ、そのドイツの書店員は「日本の小説を読むのなら日本では姓が先でアベコーボーと言うのを知っておけ」という趣旨のことを言ったというのである。日本人名は姓が先である。英語で姓を後に言うのは、英語など「オーバー」文化の習慣に合わせているだけである。江戸時代までは基本的に中国が文化の中心、モデルであった。明治以降、日本は必死に欧米文化に追いつこうとしてきた。世界の基準は西洋文化である、として、それに倣おうとしてきた。「排外」思想である。何しろ、初代文部大臣、森有礼が我が国のことばとして、日本語をやめて英語にしよう、と言いついたぐらいである。その後、いったんは「排外」への揺り戻しはあったものの、アメリカに負け、連合軍に占領されたのが決定的で、グローバリズムという名のアメリカ化が推し進められてきた。2. 国語審議会の答申と英語教科書の変化 2000(平成12)年12月の国語審議会答申「国際社会に対応する日本語の在り方」において、日本人の姓名をローマ字で表

記するときに、本来の「姓一名」順にすることを提唱した。答申の末尾に「今後、官公庁や報道機関等において、日本人の姓名をローマ字で表記する場合、並びに学校教育における英語等の指導においても、以上の趣旨が生かされることを希望する」とある。文化庁の1999（平成11）年「国語に関する世論調査」で、英文における日本人の姓名表記について尋ね「「姓一名」の順で通すべきだ」（34.9%）、「「名一姓」の順に直すのがよい」（30.6%）、「どちらとも言えない」（29.6%）という結果であったことにも言及している。国語審議会は、文部科学省の諮問機関であった（現在は文化庁文化審議会国語分科会がその役割を受け継いでいる）。文部科学省は、学習指導要領の改定において、上記の趣旨を生かし、2002年度（平成14年度）版からの中学校の英語の検定教科書において、姓が先の例を載せるようになったようである。現行の6社の英語の教科書は、すべて、姓が先になっている。ただし、「姓一名」にしなければならない、とか、こちらが正しい、とか言うてはいない。あくまで例を示すのみである。2011（平成23）年度から、小学校で英語（外国語活動）が必修化された。それに向けて文部科学省が制作し、一部の小学校で配布された『英語ノート』という教材（教科書ではない）では、自分の名前をカードに書く活動で、「姓一名」順の作例が示され、教員向けの指導資料でも、『「姓+名」の順で言うことが望ましい』とされた、ということである。パスポートには、名前をローマ字で示すことになっているが、ずっと以前から、横書きで上下に「姓/Surname」「名/Given name」の順である。ローマ字でのつづりかたについては、異論があるけれども、この英訳と順序については、至極まっとうであると評価したい。

3. 学生のローマ字表記の変化十年ほど前から、主として1年生向けのものとして日本語学の入門と文章表現法を兼ねたような教養教育科目を担当してきた。基本的に毎回、フィードバックシートと称するA5判の用紙を配布して、小課題への回答や、質問・意見・感想を書き込ませて提出させた。その初めの方の回で、「自分の名前をローマ字で書きなさい」という小課題を課してきた。「自分の名前をローマ字で書きなさい」としているだけで、英語で名前を紹介しろと言っているわけではない。また、フィードバックシートには、学籍番号と氏名を記入する欄がある。当然、その氏名欄には、ほとんど漢字で、しかも「姓一名」の順で記入される。その後、上記の小課題への回答を書くのだから、氏名欄と同様に「姓一名」の順で書いてもいいはずだ。しかし、それにもかかわらず、十年ほど前は、「名一姓」の順で回答してきた学生の方が圧倒的多数であった。それが、しだいに「姓一名」の順で回答する数が増え

てきて、2017年度、つまり今年度は、半数を超えるほどになった。おそらく、英語教科書での扱いが変わったことがきっかけになって、ローマ字で書く場合でも、「姓一名」の順が自然に感じられる若者が増えてきた、ということであろう。毎年、この小課題の結果を示しながら、国語審議会答申に触れて、「姓一名」の順で書けばよい、と説明してきた。今年度、ある学生が「どっちの順でもいいっすよね。日本を知らないアメリカ人に、いちいち説明するのも面倒くさいし」と言っていた。そう、私たちの世代は、つい迎合するな、と言いそうになるところだが、彼らは、ちょっとした付度だよ、といたって軽いノリである。【参考資料】

1 国際社会に対応する日本語の在り方（答申）（抄） 平成一二年一二月八日 国語審議
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t20001208003/t20001208003.html アクセス：2014-12-19Ⅲ 国際化に伴うその他の日本語の問題

の「二 姓名のローマ字表記の問題」

(一) 姓名のローマ字表記の現状日本人の姓名をローマ字で表記するときに、本来の形式を逆転して「名一姓」の順とする慣習は、明治の欧化主義の時代に定着したものであり、欧米の人名の形式に合わせたものである。現在でもこの慣習は広く行われており、国内の英字新聞や英語の教科書も、日本人名を「名一姓」順に表記しているものが多い。ただし、「姓一名」順を採用しているものも見られ、また、一般的には「名一姓」順とし、歴史上の人物や文学者などに限って「姓一名」順で表記している場合もある。欧米の報道機関等では、日本人自身の慣習を反映して「名一姓」順で表記することが一般的である。しかし、近年では、本来の形で表記すべきだとする意見も多く聞かれ、名刺等の表記を「姓一名」順にしている人なども見られる。文化庁の「国語に関する世論調査」（平成一一年）では、中国人や韓国人の名前は英文の新聞や雑誌の中でも自国での呼び名と同じ「姓一名」の順に書かれることが多いことを述べた上で、英文における日本人の姓名表記について尋ねたところ、「「姓一名」の順で通すべきだ」（三四・九%）とした人がやや多く、「「名一姓」の順に直すのがよい」（三〇・六%）、「どちらとも言えない」（二九・六%）もこれに拮抗する結果となった。（二）姓名のローマ字表記についての考え方世界の人の名前形式は、「名一姓」のもの、「姓一名」のもの、「名」のみのもの、自分の「名」の親の「名」を並べて個人の名称とするものなど多様であり、それぞれが使われる社会の文化や歴史を背景として成立したものである。世界の中で、日本のほか、中国、韓国、ベトナムなどアジアの数か国と、欧米ではハンガリーで「姓一名」の形式が用いられている。国際交流の機会の拡大に伴い、異なる国

の人同士が姓名を紹介し合う機会は増大しつつあると考えられる。また、先に記したように、現在では英語が世界の共通語として情報交流を担う機能を果たしつつあり、それに伴って各国の人名を英文の中にローマ字で書き表すことが増えていくと考えられる。国語審議会としては、人類の持つ言語や文化の多様性を人類全体が意識し、生かしていくべきであるという立場から、そのような際に、一定の書式に従って書かれる名簿や書類などは別として、一般的には各々の人名固有の形式が生きる形で紹介・記述されることが望ましいと考える。したがって、日本人の姓名については、ローマ字表記においても「姓一名」の順(例えば Yamada Haruo)とすることが望ましい。なお、従来の慣習に基づく誤解を防ぐために、姓をすべて大文字とする(YAMADA Haruo)、姓と名の間にコンマを打つ(Yamada, Haruo)などの方法で、「姓一名」の構造を示すことも考えられる。

今後、官公庁や報道機関等において、日本人の姓名をローマ字で表記する場合、並びに学校教育における英語等の指導においても、以上の趣旨が生かされることを希望する。

会長挨拶 近藤 太門君



卓話 名古屋市立大学 教授 成田 徹男 様



東港 RC 姉妹クラブ締結 調印式

